

姉妹校交流

渋沢中がクリスマスカード約250枚をトンプソン中へ

コロナ禍 変わる交流の”かたち”

今年度も新型コロナウイルス拡大防止の観点から、10月に予定されていたスカイプ・キャンプは中止となりました。そこで渋沢中学校では、1・2学年の生徒たちがクリスマスシーズンに合わせて、クリスマスカードやニューイヤーカードなどを作成し、姉妹校であるトンプソン中学校へ送ることにしました。

メッセージはこれまでよりバリエーションを増やし、デコレーションも色彩豊かに立体的な飾りを取り入れ、一生懸命仕上げました。生徒たちは皆、終了時間ギリギリまで工夫をし、会ったことのない同世代の仲間を思い描きながら、和やかな雰囲気を取り組んでいました。

さらに、美術部が時間をかけて作成した絵画と学校職員がデザインした体育祭のポロシャツ、学校長からの親書も一緒に、トンプソン中学校に送りました。



工夫を凝らしたクリスマスカードと絵画



この漢字バサデナで流行るかな

このカードを作成する前に、姉妹都市である秦野市とパサデナ市の関係、渋沢中学校とトンプソン中学校の関係などについて授業で取り上げました。こうした国際交流があることについて、普段の学校生活の中ではふれることがほとんどないため、特に1年生は集中して聞いていたように思います。その際、2年間にわたって中止になったスカイプ・キャンプのことや、数年前にテキサス州で起きた大洪水で、甚大な被害を受けたトンプソン中学校に対して、渋沢中学校では義援金を募る取り組みを行ったことなどを話題にしました。長年にわたって交流を重ねていることを伝える良いきっかけとなりました。

また、今年度は初めて、トンプソン中学校の“Hadano Friend Club”のメンバーから渋沢中学校にEメールが届きました。同クラブは姉妹校交流をしてみたい生徒が集まるクラブで、これまでは主にスカイプ・キャンプを通じて交流していました。

Eメールの内容は、自己紹介や、もっと渋沢中学校のことを知りたい、といった中学生らしいものでした。

今後もこのようなオンラインを通じた新しい形の交流を継続し、若い世代の交流が活発に行われるよう支援していきたいと思います。そして、いつの日かまた、互いに行き来できる日が来ることを願っています。
(渋沢中学校からの報告より 担当 名古屋まゆみ)

Hello, Shibusawa.
I'm Alyza and I would like to know better about your school and students. I'm looking forward to making friends!

Alyzaさんから「友達になりたいな〜!」とメールが届いたよ。